

惣新田幸手線バイパス事業説明会（令和6年11月17日）

主な質疑応答

Q1. 横断図を見ると幅員が27mと広い道路になるが、付近では小中学校の合併の話もあり、小中学生が安全に横断できるように信号機の設置等をしてもらいたい。

A1. 現在詳細設計を行っているところなので、警察や幸手市と相談しながら安全に通行ができるようにしていく。

Q2. 整備済区間の歩道勾配が片勾配で急なところがあるため、今回整備を行う区間ではもう少し勾配を緩やかにしてもらいたい。

幸手 IC と神扇橋の間の信号（歩車分離式信号）で歩行者信号が青なのにも関わらず、車両用信号が青になったと勘違いして発進してしまう車が多い。信号機を新たに設置する際は安全面に考慮してもらいたい。

A2. いただいた意見を参考に警察とも協議を行い安全に配慮する。

Q3. 整備後の地盤高さは今と変わらないのか。

A3. 最大で1.3m程度高くなる。

Q4. 既存水路の上をバイパスが通る箇所があるが、バイパス整備後、水路はどうなるのか。27mの幅員の中に含まれるのか、それとも27mの外に水路を設置するのか。

また、水路を設置するための土地も買収対象になるのか。

A4. 既存水路に当たってしまう箇所は水路を付け替えることになるが、付替え後の水路は道路幅員の外に設置する。水路を設置する部分も買収対象になると考えている。

Q5. バイパスの南北に土地を所有している場合、農機でバイパスを横断する際に道路の下をくぐれる構造や信号設置等の検討をしてもらいたい。

A5. 農地への出入りに支障が生じないように検討していく。